

6F

スタッフステーション
STAFF STATION

オープンホスピタル 2022



積貞棟6階 消化管外科・乳腺外科

積貞棟 6階ってどんな部署？

消化管外科と乳腺外科の混合病棟

急性期外科病棟（ほぼ毎日手術がある）

緊急入院・緊急手術にも対応

化学療法・放射線療法

内視鏡治療

どの段階においても患者さんが

安心して療養できる環境を整え

質の高い看護を提供できるように

私たちは日々頑張っています。



上部消化管-食道癌とは？

【症状】 **嚥下困難感・狭窄感**、胸部不快感、嗝声

※早期癌は無症状であることが多い

【病理】 危険因子：**飲酒、喫煙**

※男性が約9割

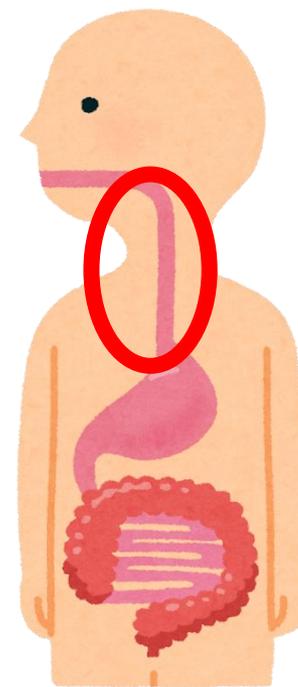
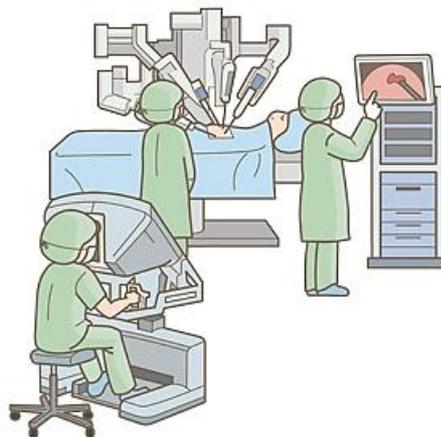


【治療】 **局所治療**

- 内視鏡治療（EMR・ESD・光線力学療法）
- 外科手術
- 放射線治療

全身治療

- 化学療法



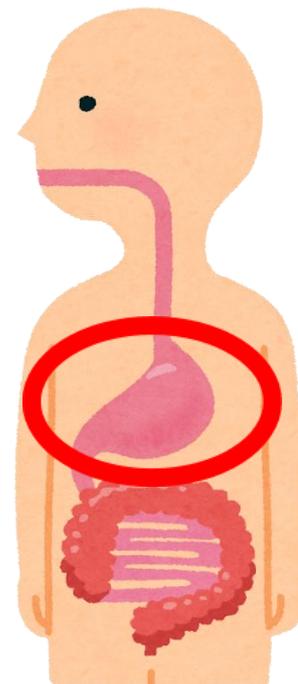
上部消化管-胃癌とは？

【症状】 無症状

心窩部痛・胃部不快感・食欲不振

【病理】 男女比 = 3 : 2 50歳以降に多い

- 【治療】
- ・内視鏡治療…早期癌
 - ・手術…進行胃癌
 - ・化学療法（抗がん剤）



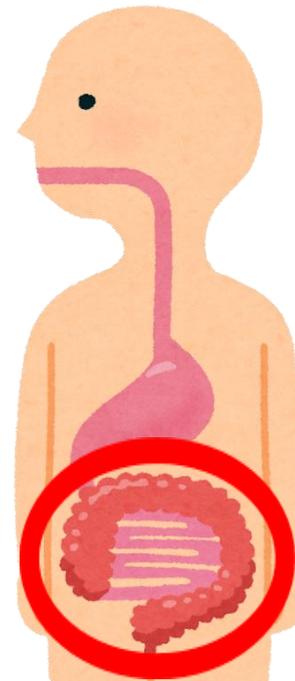
下部消化管-大腸癌とは？

- 【症状】
- ・ 排便の変化（便が細い、下痢と便秘を繰り返す）
 - ・ 腹部症状（お腹が張る）
 - ・ 出血（便潜血陽性、下血、貧血）



- 【病理】 リスク要因：飲酒・喫煙・加工肉など
※年々増加傾向

- 【治療】
- ・ 癌の切除（内視鏡的切除、手術）
局所に癌が限局している場合
ストーマ造設となる場合もあり
 - ・ 化学療法
がん細胞が全身に広がっている場合
 - ・ 放射線療法



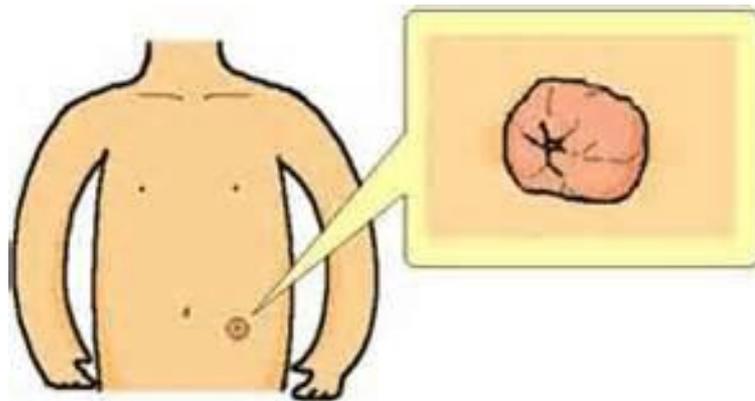
ストーマって？

★ストーマ…ギリシャ語で“□”

消化管や尿路を体外に誘導して造設した開放孔。
(人工肛門や人工膀胱とも呼ばれています！)

★なぜストーマをつくるの？

がんなどで便や尿を肛門・尿管から出せなくなった場合に、腸管・尿管を直接お腹に持ち上げて排出するためにつくります。ストーマの多くは、排泄物をためておく直腸や膀胱の代わりとなるものがなく、排泄物を受けるための装具が必要です。



ストーマ装具交換



※患者さんの許可を得て撮影しています。

ストーマ部屋（処置室）があり、たくさんの装具を常備しています♪

- ★ストーマやストーマ周囲の皮膚状態の観察を兼ねて装具交換を実施します。退院までに**患者さんに合った装具**を決定します。
- ★患者さんやご家族に排泄物の処理・ストーマ装具交換手技や知識を習得してもらえよう指導を行います。

乳がんの現状と治療

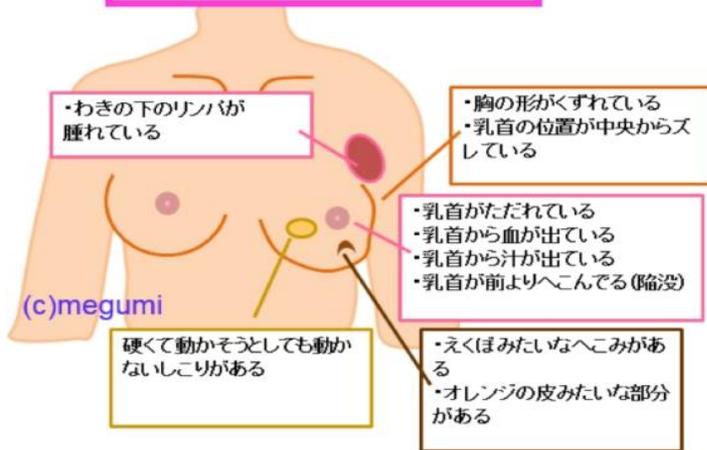
【日本の現状】

罹患率は30歳代から増加し始め、50歳前後でピークを迎えます。年間約8万5千人（2015年度）が乳がん罹患、女性が罹患するがんで最も多いです。女性ホルモンと密接に関係するため、妊娠・出産・食事や睡眠などのライフスタイルの変化が罹患率の増加に関係していると言われています。

データ出典：国立がん研究センター

主な症状

乳がんでよくある症状



種類

★広がりによる分類

- 非浸潤性（がん細胞の基底膜内）
- 浸潤性**（基底膜を破る）

★発生部位による分類

- 乳管癌**（乳管上皮より発生）
- 小葉癌（小葉上皮より発生）

日本で多い！

治療

局所療法

手術、放射線療法

全身療法

化学療法・ホルモン療法・分子標的薬治療法

病棟では
局所療法と全身療法を
組み合わせた治療を
行っています！



日勤・長日勤の流れ

積貞棟6階は**12時間2交代制**です。
日勤帯は看護師がペアを組み協力して働きます。



スムーズに長日勤へ引き継ぎ、
できるだけ残業が出ないように頑張っています！



口腔ケア

20:30
長日勤終了

16:45
日勤終了

13:30

10:00

8:00



医療者間
カンファレンス



保清



ラウンド
検温



点滴作成

朝カンファレンス



情報収集

※看護師が患者役をしています。

夜勤の流れ



ラウンド



消灯



打ち合せ



翌日の点滴・内服準備



巡回



起床

19:45

22:00

0:00

6:00

8:30

夜勤は19:45～翌8:30です。
2ペア(4人)の看護師で勤務します。
交代で休憩しながら対応できる体制を
整えています。



～MESSAGE～

積貞棟6階は消化管外科と乳腺外科の混合病棟です。手術・化学療法・放射線治療・緩和ケアなどなど…外科でありながらも様々なケアにスタッフみんなで日々奮闘しながら取り組んでいます。

忙しい中にも笑顔が飛び交っている病棟です。そのような環境の中でみなさんも一緒に働いてみませんか？ぜひ積貞棟6階へ！！！！



師長さん

積貞棟6階では、術前・術後の看護ができ、患者さんが元気になって帰っていく姿を見るととてもやりがいを感じられます。病棟の雰囲気がよく、先輩・後輩関係なく仲がよいので、とても働きやすい病棟だと思います。病院のすぐ近くに寮もあり、地方出身者も多いので、京都出身でなくても安心して働けるとおもいます。ぜひ積6で一緒に働きましょう。



先輩ナース

休憩中は和気あいあいと♪



みんなで一緒に頑張ってます★



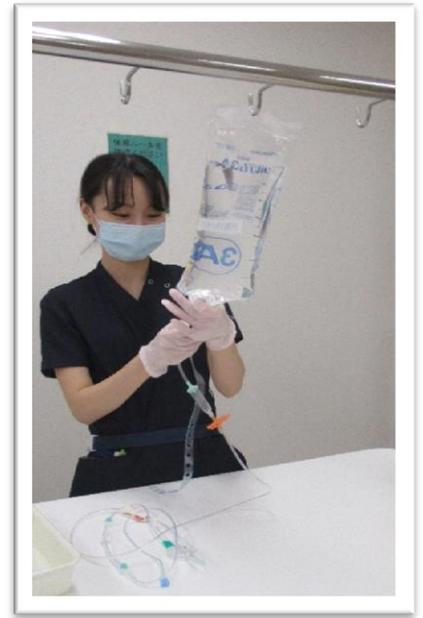
若手職員紹介

●消田 外子

●入職1年目 積貞棟6階：消化管外科・乳腺外科

●主な仕事内容

全身状態の観察やドレーン管理など、消化器・乳腺手術後の全身管理を行なっています。特に消化管外科ではストーマや経管栄養の管理なども合わせて行います。これらを患者さん自身が管理できるよう、手技指導なども行います。乳腺外科では手術後の管理だけでなく、抗がん剤の投与、状態観察も行なっています。その他治療が円滑に進むように、日常生活の援助を行います。



消田 外子さんのある1日（日勤）

- 07:30 ● 出勤、情報収集
- 08:15 ● 申し送り、カンファレンス
- 09:00 ● 患者さんラウンド、ケア
カルテ記載
- 12:30 ● お昼休憩
- 13:30 ● カンファレンス 患者さんラウンド
- 17:30 ● 退勤
- 18:00 ● 家事、明日の仕事の準備
- 23:00 ● 就寝

仕事をするうえで大切にしていること

毎日新しいことを学ぶため、復習を大切にしています。わからないことがあれば、調べたり先輩に質問して理解を深めています。また、臨床では教科書では学べないことを学ぶことができるため、自信のない、経験したことのない看護技術は積極的に経験させて頂くよう行動しています。

毎日わからないことが多く、自分の未熟さを痛感していますが、成長して良い看護ができるように努力し続けていこうと思っています。

メッセージ

外科病棟で手術前～手術後の患者さんを受け持たせていただくことで、急性期看護を学ぶことができており、日々勉強させていただいています。また、先輩方は手厚くご指導してくださり、その後指導を活かして毎日成長できるように頑張っています。

なかなかうまくいかず悩むこともあります。先輩方のような素晴らしい看護師さんになれるように、これからも頑張ります！